

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	健康課長 成田 始	
		主管課(関係課)【2】	健康課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
笑2-1 健康づくりの推進		元気に暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	市民自身が健康づくりに取り組み、健康に暮らしていくためには、健康づくりに関する自主的な活動を行う団体への支援や、新たな生活習慣病や食に関する情報提供、各種の健康診査を受診できる環境の整備が必要です。さらに、市民の健康をサポートするために小児医療・休日医療の充実、医療に関する情報など、地域医療に関わる基盤整備についても積極的に取り組むことが求められています。		・市民の自主的な健康づくりの支援 ・生活習慣病などへの対応を含めた健康診査、健康相談・教育の充実 ・小児救急医療、休日医療の充実 ・市民ニーズに沿った医療情報の提供	乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた、からだこころの健康づくりを支援します。
留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
◇任意予防接種に位置づけられている子宮頸がんワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン等についての公費負担を、市民、医師会及び市議会から求められています。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	市民の主体的な健康づくりを支援します	市民の自主的な健康づくりの支援	
	2	地域医療体制の整備・充実を図ります	小児救急医療及び休日診療体制の整備	

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24
成果指標【12】	指標1	名称	「健康づくりの支援など保健事業の充実」に対する市民満足度		目標値	40%		単位	%
		算出式・説明	特定健診・保健指導の開始など、健康づくりへの社会的要請は高まっています。市としても市民の健康づくりへの支援を充実させることが必要です。市民意識調査で把握します。		実績値	27.1	27.1	27.1	25.7
			達成率	68%	68%	68%	64%		
	指標2	名称	「地域医療体制の整備」に対する市民満足度		目標値	30%		単位	%
		算出式・説明	少子高齢化が進む中、市民が生活する身近な地域における医療体制の整備を行うことが、市民の心身ともに健康増進につながります。市民意識調査で把握します。		実績値	22.6	22.6	22.6	21.5
			達成率	75%	75%	75%	72%		
	指標3	名称	特定健康診査の受診率		目標値	65%		単位	%
		算出式・説明	ライフステージに応じた健康づくりのためには、市民が自身の健康状態を把握することが必要です。平成20年度から医療保険者に特定健診・特定保健指導が義務づけられました。市は、国民健康保険の保険者として特定健診を実施することとなります。		実績値	-	40.7	41.4	
		達成率	0%	63%	64%	0%			
指標4	名称	平日の準夜間における小児初期救急医療体制の確保		目標値	10回		単位	回	
	算出式・説明	北多摩北部医療圏4市(東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)の共同事業として、19年7月から多摩北部医療センターと佐々総合病院で実施しています。目標値の単位は、延べ回数としてしています。		実績値	5	6	8		
		達成率	50%	60%	80%	0%			
達成率の平均値					48%	67%	72%	34%	

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	24.9%	満足度(%)	23.6%
満足度(平均ポイント)	-0.1	満足度(平均ポイント)	-0.11
重要度(%)	81.5%	重要度(%)	79.2%
重要度(平均ポイント)	1.34	重要度(平均ポイント)	1.29

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇健康づくりの支援としては、各種健康診査、がん検診、訪問指導、相談といった支援メニューの充実を図ってきました。課題としては、市民がライフスタイルに応じて自発的に健康づくりに取り組むことができるよう、市民の意識醸成を図っていくことが必要となっています。 ◇任意予防接種については、市の独自事業として、高齢者の肺炎球菌ワクチン及びHibワクチン等に対し、接種費用の半額を公費負担としてきました。現在、市民・市議会・医師会から公費負担導入の要望が高まっている子宮頸がんワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン等への対応が課題となっています。 ◇特定健康診査については、市独自の検査項目を追加して健康診査内容を充実しています。また、がん検診についても、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん・肺がんの他、市の独自検診として前立腺がん・喉頭がん検診を実施して充実を図っています。この受診率の向上が課題となっています。 ◇小児初期救急医療体制については、4市(東村山市、東久留米市、清瀬市、西東京市)の共同事業として、平日の準夜間帯(午後7時30分～午後10時30分)において、多摩北部医療センター(週5日、月～金曜日)及び佐々総合病院(週3日、月・水・金曜日)で体制を確保しています。				
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input type="checkbox"/> 以前と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇健康づくりに対する市民意識を高めるために、そのきっかけづくりとして、今年度の市誕生10周年記念式典において「健康都市宣言」を行うこととしています。宣言の策定に向けては、早稲田大学との共同研究として市民意識調査等を行って市民ニーズの把握に努め、西東京市健康づくり推進協議会に諮りながら、独自性と普遍性を兼ね備えた理念の構築を目指します。 ◇任意予防接種については、子宮頸がんワクチンをめぐる日本社会全体の議論の高まり等を踏まえ、国による全国的な取組み(定期接種化、財政支援等)を要望していきます。また、そうした国による措置がなされるまでの間の市の対応については、医師会からのアドバイスも受けながら優先順位付け等を検討し決定していきます。 ◇健康診査等については、受診率の向上を図るため市民周知を拡充します。具体的には、これまでも行ってきた西東京市健康事業ガイドの全戸配布、市報やホームページ等への掲載、市が実施する特定健康診査の対象者(西東京市国民健康保険加入者)への個別通知の送付といった周知方法に加えて、今年度から新たに各地域の「ふれあいのまちづくり」住民懇談会に市職員がチラシを配布して受診勧奨を行い、地域の方々との連携を深めながら受診率の向上を目指します。また、受診しやすい体制づくりや案内の工夫等についても引き続き検討します。 ◇小児初期救急医療体制については、4市の協力体制を維持し、現在の体制を今後も確保していきます。				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	I	コストをかけても成果を向上すべき施策領域			
【一次評価後の事情変更等】		なし				
説明【23】						
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	健康づくりの推進については、任意予防接種における市独自事業としての公費負担の取組みや、特定健康診査における市独自の検査項目の追加による内容充実など、これまでも高いレベルでの施策推進を図ってきました。また、健康づくりに対する市民意識を高めるため、市誕生(合併)10周年記念式典に際し「健康都市宣言」を行うこととしています。しかしながら、国全体の課題として、子宮頸がんワクチンの摂取に対する公費助成が議論されているほか、小児用肺炎球菌ワクチンについても同様の要望が高まっており、市民意識調査における重要度認識も高い水準にあることから、国・都の動向を注視し、国・都との役割分担や受益者負担の観点にも留意しつつ、施策内容を拡充し、必要なコストを投下していくべきものと判断しました。				
	施策実施方針【22】	I	コストをかけても成果を向上すべき施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-1 健康づくりの推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	健康相談、栄養相談、健康教育、健康診査、成人歯科健診、がん検診、機能訓練の実施	健康課	計画事業では、がん検診事業のうち乳がん検診に関する経費を計上しています。乳がん検診の対象は40歳以上で偶数年齢の女性市民を対象にマンモグラフィ（乳房エックス線検査）および視触診を無料で行っています。また平成21年度からは、国庫補助を活用して、それとは別に女性特有のがん検診推進事業として、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳に達した女性の方に、『乳がん検診無料クーポン券』及び『女性の検診手帳』を送付して、女性のがんについて知っていただき、多くの方にがん検診を受けていただく機会を増やしています。
	健康づくり事業の実施	健康課	地域住民が生涯にわたって健康管理の中で「自分の健康は自分で守る」という自覚を高め、健康づくりに関する基礎知識の普及など健康づくりを推進するためのイベントを実施しています。平成19年度から「西東京市市民まつり」のときに実施することとし、骨密度測定、保健指導、体操指導などを行っています。
2	小児救急医療体制の整備	健康課	平成19年7月から西東京市、東村山市、清瀬市及び東久留米市の4市共同と5市医師会（前4市医師会と小平市医師会）の協力で、多摩北部医療センターと佐々総合病院において、平日準夜間小児救急医療を実施しています。15歳以下の子どもでも急な発熱、腹痛、下痢など、平日の準夜間の診療は、多摩北部医療センターでは月曜～金曜の午後7時30分～10時30分、佐々総合病院では月・水・金曜の午後7時30分～10時30分に受診することができます。
	地域リハビリテーションの構築について調査・研究	健康課	地域リハビリテーションとは、障害のある人々や高齢者及びその家族が住みなれたところで、医療・保健・福祉などがリハビリテーションの立場から連携・協力しあって行う活動です。北多摩北部医療圏医療機能連携協議会の動向を踏まえつつ、ネットワーク化に関する連絡体制の基盤を整えていきます。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
8,497	7,689	808	改善・見直し(平成20年度)	上	乳幼児とその保護者に対して、健康診査を実施して市民の自主的な健康づくりを支援することができます。
49,508	47,453	2,055	改善・見直し(平成19年度)	上	がん検診を実施することにより、市民の主体的な健康づくりを支援することとなります。
2,720	1,026	1,694	改善・見直し(平成18年度)	中	健康づくりのつどいのイベントを行うことで、生活習慣病についての啓発や市民の方の自主的な健康づくりの支援を行うことができます。
6,825	6,421	404	継続実施(平成19年度)	中	平日準夜間の小児救急医療を実施して、地域医療体制の整備・充実を図ることができます。
1,300	88	1,212	—	—	効果的なリハビリテーションのあり方を調査・研究して、地域医療体制の充実を図ります。
68,850	62,677	6,173			